



# 川上ダム通信

## 5月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL : 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## 「川上ダム建設促進期成同盟会」総会開催

4月27日(月)に青山ハーモニーフォレストにおいて、川崎二郎衆議院議員をはじめ、内保伊賀市長、松田伊賀建設事務所長、佐中木津川上流河川事務所長を招いて川上ダム建設促進期成同盟会の総会が開催されました。

主催者の西山会長から、「昭和42年の予備調査開始から42年が経過し、河川整備計画が策定され、ようやく長いトンネルを抜けた感じがする。1日も早いダム完成を期待しており、同盟会の活動はダム完成まで続ける」旨の挨拶があり、来賓の川崎二郎衆議院議員からは、「ダムの計画変更は大変であったが、今後は全体工期を守ってダム事業を進めることが重要である」との激励のお言葉があり、また、内保伊賀市長からは、「当選した11月1日と同じ日に4府県知事の川上ダム建設の基本合意が示され、2倍の喜びであった。事業工期を遵守して工事が進捗することを期待するとともに、ダム周辺整備についても努力していく」旨のご協力のお言葉がありました。

川上ダム建設所からは、この場をお借りしまして、柴田副所長より川上ダムの事業経過説明をさせていただきました。

今後、川上ダム建設所としましては、更なるコスト縮減を図りながら、市及び地元の協力を得、また、国・県の力添えを得てダムの効果を一日でも早く実現できるよう早期完成を目指して事業を進めて参ります。

【第一用地課長 山本正明】



西山会長挨拶



役員席



来賓席



会場の様子

# 名張川クリーン大作戦2009

5月17日(日)に「名張川クリーン大作戦2009」が行われ、川上ダム建設所からも、職員とその家族を含め予報でしたが、河川清掃中は晴れ間も見え、絶好の河川清掃日和でした。

河川清掃を行った名張市新町にある新町橋周辺では、空き缶やペットボトル等が目立ちましたが、場所によってはありませんでした。昨年、参加した状況と比べると、捨てられているゴミが減っているように感じました。このような現れではないでしょうか。

河川清掃後は、河川の水質浄化を目的として、袋に木炭を詰めたものを生活用水が河川に流れ込む場所に設置しながら、一生懸命炭を詰めている様子が印象的でした。

今後も、このような活動に積極的に参加していきたいと思います。

## 「ゆめが丘浄水場」紹介

伊賀市ゆめが丘にあります「ゆめが丘浄水場」についてご紹介します。

浄水場内部は、一部工事中のところがありましたが、とても広く、給水等に必要な管理設備が整っていました。中でも印象に残ったのは、薬品沈殿池を覆うたくさんのソーラーパネルです。これは水面をソーラーパネルで覆うことで、広大なスペースを無駄なく活用し、藻類の発生を抑える効果もあり、一石二鳥となっています。あまりの枚数の多さと広さに驚き、説明に聞き入り、写真を撮るのも忘れてしまいました。このソーラーパネルもそうですが、河川から取水した水から水道水ができるまでの過程を見学することができますので、是非見ていただきたいと思います。

【調査設計課 竹之内健太】

※施設見学の詳細については、4ページ目のイベント欄参照



ソーラーパネル設置場所から、浄水場管理棟・急速ろ過池を望む

ゆめが丘浄水場は、川上ダムを補助水源とする県営伊賀水道用水供給事業の根幹的施設と位置づけた西部広域的水道整備計画(平成10年3月策定)により、平成21年3月に完成し、同年4月より伊賀市に水道用水の供給を開始した施設です。現在は、市が運営管理をおこなっています。

伊賀地域は、小規模な水道や簡易水道が多く、その稼働率は大変高くなっており、老朽化施設の保守管理の問題や小規模水源の水質汚染、枯渇化等が懸念されています。また、地域内で地表水や地下水による新たな水源の確保が困難な状況となっています。こうした課題を改善するために浄水場が建設されました。

(ゆめが丘浄水場パンフレットより)

16名が参加しました。当日は、雨の  
 テレビやタイヤ等の大型のゴミも捨て  
 市民を中心とした活動が着実に根付い  
 ました。子供たちが、手を真っ黒にしな



【総務課 竹之内律子】

名張川に集まった参加者の皆さん



水質浄化のため炭を設置

## 付替市道第2工区（その3）工事進捗状況 ～青山羽根地区と川上地区をつなぐ道路工事③～

2008年8月号および2009年1月号で紹介いたしました青山羽根地区と川上地区をつなぐ道路工  
 事の進捗状況を紹介いたします。今年の1月にアーチカルバート※1の架設が完了してから、補強土壁工※2  
 に着手し、一枚1.0×1.5mのコンクリートの壁面材472枚を組み立てて、アンカーとなるプレート  
 を土で転圧しながら高さ約10m、最大幅約75mの大きな直立壁を完成させました。この補強土壁に  
 よって、青山羽根地区と川上地区の道路がつながり、工事車両が行き来できるようになりました。今後は、  
 6月中旬完成に向けて法面、側溝、舗装等の整備を行っていきます。 【工事課 木下真理子】

※1 プレキャストアーチカルバート：道路下に水路等の空間を得るため、盛土や地盤内に設けられた曲線状の構造物。

※2 補強土壁工：斜面に擁壁をたてて、土を入れる工法



# 地元で田植えに参加

去るGWの5月2日(土)、伊賀市高尾の山間の水田で、爽やかな晴天のもと、約1200坪もの広大な水田で苗の植付け作業のお手伝いをしました。

私はというと、苗を機械に積み込んだり、機械が通って凸凹になった田面をトンボで平らにしたりと直接苗の植付けには携わりませんが、膝下近く足を取られる泥に戸惑いながら、みんなと一緒に田植えの大変さを実感でき、充実した1日を過ごすことができました。

また、現在は1枚の水田となっており、そのほとんどを機械で植付けられますが、昔は9枚に分かれた水はけの悪い沼田(泥の深い水田)であり、全て手作業であった話を聞くと、昔の農作業の大変さを改めて痛感させられました。



最後に、今回このような機会を作っていただきました下高尾区 中本美一氏に深く感謝いたします。  
【環境課 水野正明】



伊賀市高尾にて

## 新人 川上ダム通信記者紹介

加藤 晶久 (平成21年度新規採用職員)

新たに川上ダム建設所の第一用地課に配属されました加藤晶久と申します。

「伊賀の里 自然にやさしい ダムづくり」を目指して当建設所事業に関連する情報の発信を積極的に行わせていただきたいと思います。

みんなで水がささえる豊かな社会の実現をしていきましょう。よろしく願いいたします。



## EVENT

### 青山高原つつじクォーターマラソン大会

青山高原の美しい景色を楽しみながら、3km、5km、10.5kmの部に分かれて競い合うマラソン大会。

○日時/5月31日(日) 雨天決行

○場所/青山高原

○問い合わせ/伊賀市教育委員会スポーツ振興課

TEL:0595-22-9680

### ほたる祭り(博要地区)

水田が広がる静かな山里で、水田や水路の周りを舞うほたるを観賞できます。

○日時/6月6日(土)~14日(日) ホタルウィークとして地区を開放。6月13日(土)には、観賞会が開催されます。

○場所/博要地区市民センター周辺

近鉄青山町駅から南へ車で20分

○問い合わせ/博要地区市民センター TEL:0595-55-2004

☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆

◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。◇

### ゆめが丘浄水場 施設見学会

伊賀水道用水供給事業の給水開始を記念し、施設見学会が開催されます。施設見学会の他に、水処理実験や発電体験、模擬店が予定されています。

○日時/6月21日(日) 11:30~15:00 雨天の場合、中止あり。

○場所/三重県企業庁 ゆめが丘浄水場

(伊賀市ゆめが丘7丁目4-4)

○問い合わせ/企業庁水道事業室

TEL:059-224-2833

### 編集後記

新型インフルエンザ流行が関西地方等で広まっています。手洗い・うがいをしっかりし、マスク着用で感染防止に心掛けましょう。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治 (川上ダム建設所長)

デスク 吉岡 直也 (総務課長)

〃 柳生 光彦 (工務課長)

通信記者 竹之内健太 (調査設計課)

〃 竹之内律子 (総務課)

〃 加藤 晶久 (第一用地課)



ISO14001:2004  
JQA-EM5769